

令和 2 年度

総 会 資 料

チャレンジいばらき県民運動

目 次

1 報告事項

報告第1号	規約第12条第1項の規定に基づく専決処分について	1
-------	--------------------------	---

2 審議事項

第1号議案	令和元年度事業報告	3
第2号議案	令和元年度歳入歳出決算報告及び監査報告	25
第3号議案	令和2年度事業計画(案)	28
第4号議案	令和2年度歳入歳出予算(案)	30
第5号議案	役員を選任(案)について	32

3 参考資料

資料1	規約	34
資料2	グループ設置要項	37
資料3	グループリーダー・アドバイザー会議設置要項	39
資料4	会員名簿	40
資料5	アドバイザー名簿	44
資料6	県民活動推進員名簿	45
資料7	組織体系図	46

規約第12条第1項の規定に基づく専決処分について

下記のとおり専決処分したので、チャレンジいばらき県民運動規約第12条第2項の規定に基づき、報告いたします。

記

チャレンジいばらき県民運動の令和元年度歳入歳出補正予算について、別記のとおり決定するものとする。

このことについては、総会が招集されるいとまがないことから、チャレンジいばらき県民運動規約第12条第1項の規定に基づき、専決処分する。

令和2年3月24日

チャレンジいばらき県民運動 理事長 幡谷 浩史

別記

令和元年度 歳入歳出補正予算

1 歳入の部

(単位：千円)

項目	当初予算額 (A)	補正予算額 (B)	最終予算額 (A+B)	備考
1 会費	2,912	△ 440	2,472	
(1) 会費	2,450	△ 80	2,370	団体会員の減, 会費未納
(2) 賛助金	462	△ 360	102	賛助会員の減, 賛助金未納
2 補助金	27,575	△ 2,200	25,375	
(1) 茨城県	27,575	△ 2,200	25,375	チャレンジいばらき県民運動補助事業の確定(見込み)に伴う減
3 委託金	6,013	△ 50	5,963	
(1) 茨城県	5,303	0	5,303	交流サルーン管理運営委託(5,103千円) 食を通じたエコライフ運動事業委託(200千円)
(2) 茨城県教育委員会	510	0	510	花と緑の環境美化コンクール委託
(3) あしたの日本を創る協会	200	△ 50	150	
4 共催金	1,300	0	1,300	
(1) げんでんふれあい茨城財団	800	0	800	花いっぱい運動定着化促進事業
(2) 日立財団	500	0	500	作文コンクール
5 諸収入	900	△ 226	674	交流サルーン印刷機器等利用料収入の減
6 繰越金	3,995	0	3,995	
計	42,695	△ 2,916	39,779	

2 歳出の部

(単位：千円)

項目	当初予算額 (A)	補正予算額 (B)	最終予算額 (A+B)	備考
1 県民活動事業費	13,890	△ 925	12,965	
(1) 幸せ人財育成サポート事業費	5,200	△ 950	4,250	・共助社会づくりフォーラム(1,000千円→208千円:△792千円) ・共助意識の醸成(作文コンクール)(1,200千円→1,025千円:△175千円) ・共助社会づくりを実現するための人材活用(3,000千円→3,017千円:17千円)
(2) 地域の幸せ力アップ事業費	3,500	97	3,597	・おもてなし いばらき花運動(1,900千円→1,697千円:△203千円) ・花いっぱい運動定着化促進事業(1,600千円→1,900千円:300千円)
(3) 幸せ発信力アップ事業費	4,570	△ 24	4,546	・いばらき幸せ発信事業(2,000千円→852千円:△1,148千円) ・県民運動PRのための啓発品(2,500千円→3,692千円:1,192千円) ・一人ひと自慢ひと幸せ発信運動(70千円→2千円:△68千円)
(4) IT活用推進事業費	620	△ 48	572	・IT活用検討会(120千円→18千円:△102千円) ・HP管理費(500千円→554千円:54千円)
2 地域活動支援事業費	3,600	△ 1,580	2,020	・若い世代とつくる新たな地域づくり(1,500千円→635千円:△865千円) ・地域活動サポート事業(2,100千円→1,385千円:△715千円)
3 NPO等連携協働事業費	7,200	△ 919	6,281	・NPO等連携協働促進事業費(円卓会議)(500千円→150千円:△350千円) ・団体連携事業費(700千円→356千円:△344千円) ・交流サルーン管理運営費(6,000千円→5,775千円:△225千円)
4 運営費	17,005	△ 3,125	13,880	
(1) 人件費	10,871	329	11,200	人件費の確定(見込み)に伴う増
(2) 会議費等	1,500	△ 1,199	301	理事会, アドバイザー, 推進員の旅費等の確定(見込み)に伴う減
(3) 管理費	4,634	△ 2,255	2,379	消耗品費, 印刷製本費, 通信運搬費等の確定(見込み)に伴う減
5 予備費	1,000	△ 1,000	0	
計	42,695	△ 7,549	35,146	

※歳入最終予算額－歳出最終予算額＝繰越見込額(※年度間調整費用)

4,633千円

令和元年度事業報告

(提案理由)

別記のとおり、令和元年度事業を報告し、議決承認を求めるものであります。

<事業報告 目次>

1 会務に関する事項	4
2 チャレンジいばらき県民運動の展開	6
(1) 「幸せ人財育成のサポート」に関する事項	6
(2) 「地域の幸せ力アップ」に関する事項	10
(3) 「幸せ発信力アップ」に関する事項	13
(4) 「ITの活用による幸せ力向上のサポート」に関する事項	14
(5) 県内地域における県民運動の推進	14

<付属表>

別表1：市町村別地域活動員(ネットワークー)委嘱者数	19
別表2：ネットワークー等連絡協議会設立状況	20
別表3：市町村県民運動推進組織設立状況	21
別表4：令和元年度交流サルーンいばらき利用状況一覧	23
別表5：令和元年度チャレンジいばらき県民運動後援事業一覧	24

令和元年度 事業報告

令和元年度は、共助による新しい茨城の実現に向けて、県民、NPO、団体、企業、大学、行政が連携しながら、地域課題に挑戦する県民の主体的な県民運動を推進しました。

1 会務に関する事項

(1) 総会（第26回）の開催

日 時	令和元年5月28日(火)11:00～
場 所	茨城県総合福祉会館 コミュニティホール
出席数	会員245名中 217名出席（委任状144名含む）
議 事	議案第1号 平成30年度事業報告について 議案第2号 平成30年度歳入歳出決算報告及び監査報告について 議案第3号 令和元年度事業計画（案）について 議案第4号 令和元年度歳入歳出予算（案）について 議案第5号 役員の選任（案）について
結 果	いずれも原案承認又は可決

(2) 理事会の開催

【第1回理事会】

日 時	令和元年5月28日(火)9:30～
場 所	茨城県総合福祉会館 多目的室
出席数	理事27名中 24名出席（委任状9名含む）、監事2名中 2名出席
議 事	議案第1号 平成30年度事業報告について 議案第2号 平成30年度歳入歳出決算報告及び監査報告について 議案第3号 令和元年度事業計画（案）について 議案第4号 令和元年度歳入歳出予算（案）について 議案第5号 役員の選任（案）について
結 果	いずれも原案承認又は可決

【第2回理事会】

日 時	令和2年3月24日(火)
場 所	書面開催
出席数	理事26名中 26名から書面表決書提出あり
議 事	報告第1号 令和元年度事業執行状況について 議案第1号 令和元年度歳入歳出補正予算（案）について 議案第2号 令和2年度事業計画（案）について 議案第3号 令和2年度歳入歳出予算（案）について 議案第4号 チャレンジいばらき県民運動グループ設置要項の改正について 議案第5号 チャレンジいばらき県民運動県民活動推進員の選任（案）について
結 果	いずれも原案承認又は可決

(3) アドバイザーの活用

令和元年度事業計画で掲げた「共助による新しい茨城の実現に向けて社会の課題に

挑戦する県民運動」を展開していくに当たり、その推進方策等について専門アドバイザーから意見・助言をいただきました。

○横須賀聡子アドバイザー（新しい共助社会づくり）

- ・身近な地域課題解決の担い手となる人財の活用について（平成31年4月8日、令和元年6月18日）
- ・共助意識の醸成を図るためのフォーラム開催について（令和2年1月12日、同2月9日）

（４）県民活動推進員の活動

ア 県民活動推進員会議（全体会議）の開催

第1回	日時	平成31年4月18日（木） 13:30～
	場所	茨城県三の丸庁舎（3F） 共用会議室A
	出席数	28名中24名出席
	内容	・平成31年度のグループ構成及び正副リーダーの決定 ・平成31年度事業計画（案）の説明と意見交換
第2回	日時	令和2年1月21日（火） 11:00～
	場所	茨城県三の丸庁舎（2F） 交流サルーンいばらき会議室
	出席数	28名中17名出席
	内容	・県民活動推進員の任期の取扱い ・県民運動の事業展開に関する意見交換

イ 各グループ会議の開催

【人財サポートグループ】

第1回	日時	平成31年4月18日（木） 14:00～
	場所	茨城県三の丸庁舎（3F） 共用会議室A
	出席数	13名中10名出席
	内容	・H31年度事業スケジュール（案）について協議
第2回	日時	令和元年5月17日（金） 14:00～
	場所	茨城県三の丸庁舎（2F） 交流サルーンいばらきフリースペース
	出席数	13名中10名出席
	内容	・令和元年度作文コンクールの進め方について協議
第3回	日時	令和元年9月13日（金） 10:00～
	場所	茨城県三の丸庁舎（3F） 共用会議室A
	出席数	13名中10名出席
	内容	・令和元年度作文コンクール応募書類整理
第4回	日時	令和元年10月3日（木） 10:00～
	場所	茨城県三の丸庁舎（3F） 共用会議室A
	出席数	13名中6名出席
	内容	・令和元年度作文コンクールの審査

【地域活動支援グループ】

第1回	日時	平成31年4月18日（木） 14:00～
	場所	茨城県三の丸庁舎（3F） 共用会議室A
	出席数	10名中10名出席
	内容	・H31年度事業スケジュール（案）について協議

第2回	日時	令和元年7月23日(火) 13:30～
	場所	茨城県三の丸庁舎(2F) 交流サルーンいばらき会議室
	出席数	10名中6名出席
	内容	・第47回花と緑の環境美化コンクールに係る応募書類の整理、現地審査のスケジュール及び役割分担等について協議

【魅力発見・発信グループ】

第1回	日時	平成31年4月18日(木) 14:00～
	場所	茨城県三の丸庁舎(3F) 共用会議室A
	出席数	5名中4名出席
	内容	・H31年度事業スケジュール(案)について協議
第2回	日時	令和元年5月14日(火) 10:00～
	場所	茨城県三の丸庁舎(2F) 交流サルーンいばらき会議室
	出席数	5名中5名出席
	内容	・「ちゃれいばレター(9月発行)」掲載内容の検討 ・チャレンジいばらき県民運動ホームページ掲載内容の検討
第3回	日時	令和元年7月29日(月) 10:00～
	場所	茨城県三の丸庁舎(2F) 交流サルーンいばらき会議室
	出席数	5名中5名出席
	内容	・広報紙の企画・編集に関する実践的研修 ＜講師＞(株)日宣メディックス 企画・編集チーム 鈴木 篤氏
第4回	日時	令和元年12月5日(木) 15:20～
	場所	水戸プラザホテル内
	出席数	5名中4名出席
	内容	・「ちゃれいばレター(3月発行)」の編集・発行について協議

【IT活用グループ】

第1回	日時	平成31年4月18日(木) 14:00～
	場所	茨城県三の丸庁舎(3F) 共用会議室A
	出席数	5名中5名出席
	内容	・ITを活用した県民運動について意見交換
第2回	日時	令和元年5月28日(火) 15:00～
	場所	茨城県総合福祉会館 フリースペース
	出席数	5名中5名出席
	内容	・ITを活用した県民運動の事例紹介と意見交換

2 チャレンジいばらき県民運動の展開

令和元年度事業計画に掲げた5つの柱に基づき各種事業を展開しました。

(1) 「幸せ人財育成のサポート」に関する事項

郷土いばらきの優れた魅力や資源などを自慢できる次世代を担う人財育成のサポートに取り組んだほか、共助による新しい茨城づくりの実現に向けて「コミュニティワーク実践講座」を開講し、身近な地域課題解決の担い手となる人財の育成に努めました。

また、移動支援と居場所づくりを中心とした共助社会づくりフォーラムを開催し、共助意識の醸成を図りました。

ア 令和元年度作文コンクールの実施（公益財団法人日立財団との共催事業）

個性と創造性に富む心豊かな人づくりを目的に、令和元年度は、本県の未来を担う子どもたちに、茨城の豊かさや暮らしやすさ、伝統文化のすばらしさ、さらには茨城の科学技術を再認識してもらうため、「わたしの住む町」をテーマとして作品を募集しました。

この結果、県内小・中学校の児童・生徒から12,435点の応募があり、各学校内の審査を経て推薦のあった1,669点について、厳正な審査により、優秀作品45点を選考し表彰しました。

また、受賞作品集を作成し、チャレンジいばらき県民運動のホームページ上で公開するなど、子どもたち目線で見えた本県の魅力発信につなげました。

【応募状況】

テーマ	わたしの住む町		
募集期間	6月10日（月）～9月6日（金）		
応募数	小学校の部	低学年（1～3年）の部	1,938点
		高学年（4～6年）の部	3,555点
	中学校の部		6,942点
			※応募総数：12,435点

【審査】

	審査日	審査結果	審査体制
一次審査	9月17日（火）	210点を選定	川嶋審査委員長（茨城大学教育学部教授）から指導を受けている同大の学生21名
二次審査	10月3日（木）	91点を選定	県民活動推進員（人財サポートグループ）13名
最終審査	10月31日（木）	45点を選定	作文コンクール審査委員会委員9名 ※委員長：川嶋秀之茨城大学教育学部教授

【審査結果（各賞決定）】

賞名	部門		中学校	計
	小学校			
	低学年	高学年		
茨城県知事賞	1	1	1	3
日立財団 小平記念賞	1	1	1	3
茨城県教育委員会教育長賞	1	1	1	3
茨城新聞社長賞	1	1	1	3
チャレンジいばらき県民運動理事長賞	1	1	1	3
日立財団 奨励賞	10	10	10	30
合計	15	15	15	45

イ コミュニティワーク実践講座の開催

共助の推進に向けて、身近な地域課題の解決を支援する人財を養成するための連続講座「コミュニティワーク実践講座」を実施しました。

【第1回講座】

日 時	令和元年10月20日（日） 10:00～16:30
会 場	茨城県労働福祉会館 会議室
内 容	○講義：「コミュニティワークとは何か」 ○講師：大学教授・臨床心理士 武田 信子 氏
	○講義：「コミュニティワーカーとは誰か」 ○講師：大学非常勤講師・NPO法人理事 西川 正 氏
受講者	25人

【第2回講座】

日 時	令和元年11月30日（土） 10:00～16:30
会 場	茨城県三の丸庁舎（3F） 共用会議室A
内 容	○講義：「市民性の向上と支援」 ○講師：社会福祉士・NPO法人事務局長 斎 典道 氏
	○講義：「傾聴・情報収集」 ○講師：大学常勤講師・社会福祉士 土屋 佳子 氏
	○講義：「分析～コミュニティワークエクササイズ集～」 ○講師：NPO法人代表 横須賀 聡子 氏
受講者	26人

【第3回講座】

日 時	令和2年1月12日（日） 10:00～16:30
会 場	茨城県三の丸庁舎（3F） 共用会議室A
内 容	○講義：「ファシリテーションⅠ・Ⅱ」 ○講師：看護師・認定ワークショップデザイナー 浦山 絵里 氏
	○講義：「地域実践プランニング」 ○講師：大学教授・臨床心理士 武田 信子 氏 看護師・認定ワークショップデザイナー 浦山 絵里 氏
受講者	29人

【第4回講座】

日 時	令和2年2月9日（日） 10:00～16:30
会 場	茨城県三の丸庁舎（3F） 共用会議室A
内 容	○講義：「地域を巻き込むリーダーシップ」 ○講師：研究所所員・NPO法人代表 池本 修悟 氏
	○講義：「交渉・行政との協働」 ○講師：研究所所員・NPO法人代表 池本 修悟 氏 大学常勤講師・NPO法人代表 松田 妙子 氏
受講者	22人

【現地研修】

地域のリサーチと分析，地域課題発見・解決のためのヒアリングなど，コミュニティワークの手法を実際の現場等において実践・研修しました。

	県央地区	鹿行地区	県南地区
日 時	R1.11.10～R2.1.18まで 計8回実施	令和2年1月25日（土） 13:00～16:00	令和2年2月22日（土） 10:00～13:00
場 所	水戸市飯富地区	鹿嶋市豊郷公民館裏山	つくば市
内 容	台風19号により被害を受けた飯富地区でのコミュニティワーク	冒険遊び場ゆたかな郷での傾聴・情報収集	事例をもとにしたコミュニティワーク実践ミーティング

ウ 共助社会づくりフォーラムの開催

移動支援と居場所づくりを中心とした共助社会づくりフォーラムを開催し，共助意識の醸成を図りました。

【共助社会づくりフォーラムの概要】

日 時	令和2年2月21日（金） 14:00～
会 場	茨城県県西生涯学習センター 多目的ホール
内 容	<基調講演> ○演 題：「移動支援について」 ○講 師：茨城大学大学院教授 山田 稔氏 <事例発表> ○演 題：「たまり場・たろうの活動を通して」 ○発表者：たまり場・たろう主宰 小松崎 登美子氏 <パネルディスカッション> ○テーマ：共助社会づくりに向けて ～移動支援と居場所づくりを中心に～ ○コーディネーター 茨城大学大学院教授 山田 稔氏 ○パネリスト（4名） 「たまり場・たろう」主宰 小松崎 登美子氏 「おしゃべりサロンうきうき」運営グループ長 大和田 峯子氏 「高倉地域づくりの会」事務局長 佐川 憲一郎氏 「NPO法人セカンドリーグ茨城」理事長 横須賀 聡子氏
参加者	318人

エ みんなで教育を考える 「いばらき教育の日」推進大会の支援

関係38団体で構成する「いばらき教育の日」推進協議会（会長：幡谷浩史）に参画し，豊かな心と確かな学力を備えた明日の茨城を担う子どもたちを育成し，地域社会の形成に主体的に参画することのできる人づくりの進展に資することを目的に開催した「いばらき教育の日」推進大会を支援しました。

【推進大会の概要】

日 時	令和元年11月1日（金） 10:00～
会 場	ザ・ヒロサワ・シティ会館 大ホール
内 容	○表 彰 優秀標語表彰，善行表彰など ○活動発表 水戸葵陵高等学校書道部 ○記念講演 演題：「幸せの条件」 講師：奈良・薬師寺 執事長 大谷 徹英氏
参加者	約1,500人

(2) 「地域の幸せカアップ」に関する事項

一人ひとりが、地域の担い手として支え合う、新しいコミュニティづくりの検討や花と緑で潤いのある地域づくりを進め、住み続けたいくなるいばらきづくりや地域力の向上に取り組みました。

ア おもてなし いばらき花運動の推進

①第47回花と緑の環境美化コンクールの実施（茨城県教育委員会委託事業）

豊かな地域づくりを目指し、花いっぱい運動ですばらしい成果を上げている地域・団体・職場・学校を顕彰し、環境美化及び集団活動における優れた取り組みを広げ、花いっぱい運動が地域や団体に根ざした運動となるよう推進することを目的に実施しました。

【市町村審査】

市町村を通じて募集要項を配布。市町村における審査を経て、チャレンジいばらき県民運動に推薦されました。（募集期間：令和元年5月13日～7月2日）

	フラワー ロードの部	おもてなし 花壇の部	団体・職 場の部	学校の部	合 計
応募数	37	180	260	227	704
市町村審査(推薦数)	15	22	30	35	102

【中央審査】

市町村審査を経て推薦された102団体について、チャレンジいばらき県民運動に設置した「花と緑の環境美化コンクール中央審査委員会（委員12名。委員長：学識経験者・櫻井茂幸氏）」において、書類審査及び現地審査を行い、各賞を決定しました。

	審査日時	場 所	審査結果
一次審査 (書類審査)	7月31日(水) 13:00～	県三の丸庁舎 (共用会議室B)	書類審査の結果、48団体を 二次審査の対象として選考
二次審査 (現地審査)	8月 21日, 22日, 23日, 27日, 28日, 29日	現地 48団体の花壇を 6日間で審査	審査対象団体に立ち合いを いただき管理状況や地域と の関わりなどについて審査
最終審査	9月5日(木) 10:00～	県三の丸庁舎 (共用会議室B)	現地審査の結果を踏まえ、 各賞を選考

【審査結果（各賞決定）】

賞 名	部 門	フラワー ロードの部	おもてなし 花壇の部	団体・職 場の部	学校の部	計
茨城県知事賞		1	1	1	1	4
茨城県教育委員会教育長賞		1	1	1	1	4
茨城新聞社長賞		1	1	1	1	4
茨城県花き園芸協会会長賞		1	1	1	1	4
茨城県造園建設業協会会長賞		1	1	1	1	4
チャレンジいばらき県民運動理事長賞		1	1	1	1	4
茨城国体・障害者スポーツ大会局長賞	該当なし		1	1	1	3
合 計		6	7	7	7	27

【茨城国体・障害者スポーツ大会に向けた取り組み】

- ・45年ぶりに本県で開催された茨城国体と連動した取り組みとして、「茨城国体・障害者スポーツ大会局長賞」を特別に設け、コンクール参加団体や地域の方々の花いっぱいによる「おもてなしの心」の醸成を図りました。

【ITを活用した花いっぱい運動の情報発信】

- ・インターネットやSNSなどを活用して、花と緑の環境美化コンクールや参加団体の活動の様子を広く情報発信しました。
- ・また、各賞を受賞した団体の紹介動画を作成し、YouTubeやホームページで公開するなど、取り組み意欲の向上と花いっぱい運動の拡大に努めました。

②令和元年度花いっぱい運動定着化促進事業の実施（公益財団法人げんでんふれあい茨城財団助成事業）

花づくりを通じた地域コミュニティの再生・活性化を図るとともに、花いっぱい運動がさらに定着し、発展していくきっかけとなることを目的に実施しました。

【応募状況】

- ・市町村を通じて募集要項を広く配布したほか、ホームページ等での広報を実施し、令和元年6月3日から8月30日にかけて募集を行ったところ、54の団体・学校から応募がありました。

【審査】

- ・令和元年9月19日に「花いっぱい運動定着化促進事業審査委員会（委員5名。委員長：学識経験者・櫻井茂幸氏）」を開催し、30の団体・学校を認定団体として選考しました。
- ・この事業により認定された団体には、花壇づくりに必要な経費を助成し、花いっぱい運動の拡大と花壇づくりを通しての地域コミュニティ活性化のきっかけづくり、さらには、活動報告を3年間継続して提出していただくことにより、花いっぱい運動の定着化につなげました。

【参考：地区別内訳】

	県 央	県 北	鹿 行	県 南	県 西	合 計
応募数	15	9	4	15	11	54
認定数	7	7	2	11	3	30

イ チャレンジいばらき県民運動のつどいの開催

午前の「花の部」では、花と緑の環境美化コンクールの表彰と花壇づくりに意欲的に取り組む団体への認定証交付を行い、出席者同士の交流と花いっぱい運動の更なる展開を図りました。

午後の「作文の部」では、作文コンクールの表彰を行い、本県の将来を担う小・中学生に、自分の町の良さを見つめ直し、その魅力を伝えてもらうことができました。

【県民運動のつどい概要】

日 時	令和元年12月5日（木） 10:30～15:30
会 場	水戸プラザホテル（1F） ガーデングルーム
主 催	チャレンジいばらき県民運動、公益財団法人げんでんふれいあい茨城財団、公益財団法人日立財団
内 容	<p><花の部> 第47回花と緑の環境美化コンクール表彰 令和元年度花いっぱい運動定着化促進事業認定証交付</p> <p><作文の部> 令和元年度作文コンクール表彰 令和元年度作文コンクール知事賞受賞者作文発表</p>
参加者	318人

ウ 企業や大学との連携・協働

各地域が抱える身近な地域課題の発見や解決に向けて、市町村ネットワークカー協議会等と企業や大学の仲介・調整役となって、連携・協働した事業を実施しました。

①城里町古内地区コミュニティ活性化事業

- ・古内茶の振興や地域活性化などの課題を抱える城里町古内地区において、地域の資源と人材を活用し、地域コミュニティの活性化に加え、交流人口の拡大による地域振興を目的に、しろさとネットワーク等連絡協議会が中心となり、筑波大学や常磐大学と連携・協働して実施した「庭先カフェ」を支援しました。
- ・庭先カフェとは、茨城三大銘茶の一つである「古内茶」や古民家などの地域資源を活かして、お茶生産農家等の庭先でお茶とオリジナルのお茶請けを提供し、来訪者をもてなす取り組みです。

【第1回古内茶庭先カフェの概要】

期 日	令和元年6月2日（日）
場 所	城里町古内地区
主 催	しろさとネットワーク等連絡協議会、チャレンジいばらき県民運動、筑波大学芸術系 渡研究室
協 力	古内地区地域協議会、古内茶生産組合、城里町役場
内 容	お茶農家を中心に、古内地区の民家9軒で庭先カフェを開催
来場者	約390人

【第2回古内茶庭先カフェの概要】

期 日	令和元年11月16日（土）
場 所	城里町古内地区
主 催	しろさとネットワーク等連絡協議会、チャレンジいばらき県民運動、筑波大学芸術系 渡研究室
協 力	古内地区地域協議会、古内茶生産組合、城里町役場、城里町地域おこし協力隊、城里町開発公社、水戸農業協同組合北部営農資材センター、筑波大学adp「茨城メイクアップ」、常磐大学 砂金ゼミ
内 容	古内地区の民家8軒で庭先カフェを開催したほか、古内茶を使ったオリジナルスイーツの提供や、日本茶インストラクターによる日本茶講座を実施
来場者	約350人

② 「パラスポーツ」を通じた共生・共助社会づくり事業

- ・パラスポーツをきっかけとして、障害への理解促進を図り、共生・共助社会の実現につなげることを目的に、つくば市ネットワークの会とTSSボランティアTRICOLOR（常磐大学・常磐短期大学）との連携・協働を支援し、(株)カスミ主催の「つくパラ・2020」においてワークショップを実施しました。

【「つくパラ・2020」ワークショップの概要】

期 日	令和2年2月9日（日）
会 場	つくば市桜総合体育館
実施者	つくば市ネットワークの会，TSSボランティアTRICOLOR（常磐大学・常磐短期大学），チャレンジいばらき県民運動
内 容	ワークショップとしてハンドアーチェリーのピンづくり，フェイスペイントを実施したほか，インスタボードを会場に設置
来場者	325人
備 考	「つくパラ・2020」は，(株)カスミとつくば市の共催により開催した車いすバスケットやボッチャなどのパラスポーツ体験イベントであり，当日の来場者は約720人

(3) 「幸せ発信力アップ」に関する事項

地域で活躍する人，伝統文化，方言や豊かな自然など本県の素晴らしい資源を発信し，茨城の豊かさを自慢する力を養い，魅力度向上に取り組みました。

ア 広報紙「ちゃれいばレター」の発行

チャレンジいばらき県民運動の活動や地域で取り組まれている様々な活動を紹介する広報紙を2回発行し，県民運動の広報活動に努めました。

【「ちゃれいばレター」の発行】

	発行月	発行部数	主な掲載内容
vol.3	9月	6,000部	総会開催結果，茨城国体に向けた花いっぱい運動，水質浄化運動，古内茶庭先カフェなど
vol.4	3月	6,000部	県民運動のつどい，ネットワーク活動推進大会，コミュニティワーク実践講座など

イ 広報紙技術研修会の開催（再掲）

広報紙編集を担当する県民活動推進員（魅力発見・発信グループ）を主な対象として，専門の講師を招き，広報紙のあり方や取材の仕方，紙面の校正・確認，写真の撮り方などを研修し，スキルアップを図りました。

日 時	令和元年7月29日（月） 10:00～
会 場	茨城県三の丸庁舎（2F）交流サルーンいばらき会議室
講 師	(株)日宣メディックス 企画・編集チーム 鈴木 篤氏
受講者	県民活動推進員（魅力発見・発信グループ）など11名

ウ インターネットによる各種情報の配信

各種ツールを活用し，チャレンジいばらき県民運動事業，寺子屋サルーンや地域活動団体向けの各種助成金などの交流サルーンいばらき関連情報，さらには，ネットワーク等連絡協議会の活動情報などを配信し，広く周知・広報しました。

○ホームページアクセス数：73,659件

エ ラジオや新聞を活用した情報発信

作文コンクールで知事賞を受賞した児童・生徒による作品朗読のラジオ放送，花と緑の環境美化コンクール知事賞の花壇写真などを新聞に掲載し，本県の魅力を発信するとともに，活動団体等の意欲向上とさらなる活動拡大につなげました。

オ 花と緑の環境美化コンクール入賞作品の動画配信（再掲）

カ 作文コンクール受賞作品集のホームページ公開（再掲）

キ 企業とコラボした県民運動のPR

若い世代に影響力のある地元プロスポーツチーム「茨城ロボッツ」とコラボレーションしたエコバッグを作製し，プラスチックごみ削減とマイバッグ運動のさらなる促進を図り，環境保護に対する啓発を行いました。

（４）「ITの活用による幸せ力向上のサポート」に関する事項

ア Web会議による業務の効率化と意思決定の迅速化

関係者同士が離れた場所からでもインターネットを介して会議等ができるWeb会議システムを活用し，コミュニケーションの円滑化を図りました。

【実績】

	古内茶庭先カフェWeb会議（1回目）	古内茶庭先カフェWeb会議（2回目）
日時	令和元年5月15日（水） 18:00～	令和元年6月24日（月） 17:00～
場所	城里町役場～筑波大学芸術棟	城里町役場～筑波大学芸術棟
出席者	約30人	約30人

イ 地域活動投稿フォームによる情報収集

チャレンジいばらき県民運動のホームページ上に投稿フォームを設け，県内各地域の情報や地域活動員（ネットワーカー）の活動情報を収集しました。

（５）県内地域における県民運動の推進

ア NPO等の活動支援

NPO等の活動支援，団体・企業・行政とNPOとの連携・協働を推進しました。

①交流サルーンいばらきの管理・運営

NPOやボランティア団体などの社会貢献活動を支援するため，講座の開催，会議室の無料開放，印刷機器の低料金化など，利用環境を整備し，広く利用促進を図りました。

【交流サルーンいばらきの利用状況（詳細は別表4参照）】

開設日	平成11年11月11日	
令和元年度 利用状況	開館日数	283日
	利用者数	10,633人（1日平均37.6人）
※参考：開設からの累計利用者数209,363人／開館日数5,723日／1日平均36.6人		

②講座等の開催

NPOや地域活動団体が、主体的に学習し交流するための小規模な学び合いの場となる「寺子屋サルーン」を3回開催しました。

第1回	日時	令和元年7月27日(土) 13:00～
	会場	交流サルーンいばらき フリースペース
<通算> 19回目	内容	○テーマ:「新しい活動を立ち上げよう!」 ○講師:モジャとメガネ。加藤 雅史氏
	参加者	6人
第2回	日時	令和元年10月20日(日) 13:00～
	会場	交流サルーンいばらき フリースペース
<通算> 20回目	内容	○テーマ:「自立に悩む若者と保護犬の再出発」 ○講師:NPO法人キドックス 代表理事 上山 琴美氏
	参加者	11人
第3回	日時	令和2年1月25日(土) 13:00～
	会場	交流サルーンいばらき フリースペース
<通算> 21回目	内容	○テーマ:「イノシシレザーに学ぶ!身近な地域資源の活かし方」 ○講師:サングリエ 瀬川 礼江氏
	参加者	17人

③交流サルーンいばらきのPR

交流サルーンいばらきの利用促進を図るため、リーフレットを活用した周知に努めました。

④NPO等連携協働促進事業

皆が共に助け合い、支え合う「共助社会づくり」を推進するため、フォーラムやセミナー等を開催しました。

【地域円卓会議 in 茨城2020】

日時	令和2年2月19日(水) 13:00～
会場	茨城県県南生涯学習センター
内容	○全体会 ・外国ルーツの家族の状況と情報支援について ・各セクターにおける外国人の受け入れ状況について ○分科会 ①外国人の避難訓練について ②新型コロナウイルスの情報提供について
参加者	20人

【NPO組織基盤強化セミナー】

日時	令和元年12月4日(水) 13:30～	12月10日(火) 13:30～	12月18日(水) 13:30～
会場	水戸市役所	つくばカピオ	古河市中央公民館
参加者	13人	14人	7人
内容	○NPO法改正, 会計・税務・労務・総務 等 ○講師:NPO法人茨城NPOセンター・コモンズ 常務理事・事務局長 大野 覚氏		

イ 地域活動員（ネットワーカー）による県民運動の推進

地域活動員及び市町村との連携を密にし、県民運動の地域への浸透を推進しました。

①令和元年度地域活動員委嘱状交付式の開催

日時	令和2年2月21日（金） 13:00～
会場	茨城県県西生涯学習センター 多目的ホール
内容	○令和元年度新規地域活動員（32名）に対して委嘱状を交付 ＜参考＞ 地域活動員総数：960人（令和2年3月31日現在） ※市町村別内訳は別表1のとおり

②ネットワーカー活動推進大会の開催

地域活動員（ネットワーカー）が一堂に会し、実践活動の事例発表や情報交換を通じて、研鑽と交流を深めることにより、今後の地域活動の活性化につなげることを目的として開催しました。

日時	令和2年2月21日（金） 13:00～	
会場	茨城県県西生涯学習センター 多目的ホール	
内容	テーマ	共助の取組を広げよう！
	第一部	開会行事 委嘱状交付式（前掲）
	第二部	フォーラム（前掲）
参加者	318人	

③ネットワーカー等連絡協議会代表者会議の開催

ネットワーカー等連絡協議会とチャレンジいばらき県民運動との連携強化を図る目的で開催しました。

日時	令和元年7月5日（金） 13:00～
会場	茨城県開発公社ビル（4F） 大会議室
内容	・令和元年度チャレンジいばらき県民運動の事業内容等説明 ・事例発表（城里町古内地区コミュニティ活性化事業ほか） ・ブロック毎の意見交換
参加者	101人

④市町村ネットワーカー等連絡協議会への助成

県内各地において地域活動を実践し、県民運動の普及に努めているネットワーカーの活動を支援するため、36の市町村ネットワーカー等連絡協議会に対し助成を行いました。

ウ 団体等との連携の促進

各種団体や企業、行政との連携を強化し、チャレンジいばらき県民運動の一層の推進に努めました。

①地域コミュニティ活動の推進

あいさつ・声かけ運動などによりコミュニケーションの輪を広げ、地域コミュニティの活性化や地域コミュニティのネットワークの強化を図りました。

【あいさつ・声かけ運動】

・家庭、学校、地域で、大人と子ども・大人同士・子ども同士のコミュニケー

ションの輪を広げ、地域住民の連帯感の醸成を図るため、公益社団法人茨城県青少年育成協会を中心に連携して、全県的な運動を展開しています。

- ・11月の「いばらき教育月間」には、県内の主要鉄道駅において、あいさつ・声かけ運動街頭啓発を実施しました。

11/ 1（金）…水戸駅，日立駅，土浦駅

11/ 5（火）…新鉾田駅，つくば駅

11/ 6（水）…下館駅

10/15（火）…守谷駅

②水質浄化運動の推進

プラスチックごみによる海洋汚染問題が大きくクローズアップされており、清掃活動終了後には、オリジナルのエコバッグを参加者に配布し、一層のマイバッグ運動を推進しました。

【ひぬま流域クリーン作戦】

期 日	令和元年7月13日（土）
場 所	潤沼自然公園（茨城町）周辺の潤沼湖畔
主 催	クリーンアップひぬまネットワーク，チャレンジいばらき県民運動
参加主体	ネットワーク会員（流域住民・企業），各ボランティア団体，茨城町内中学校2校，地域活動員（ネットワークカー），一般県民
内 容	潤沼自然公園を起点に東西4コースに分かれ，湖畔のゴミ拾い作業
参加者	609人

【第93回霞ヶ浦・北浦地域清掃大作戦拠点地区事業】

期 日	令和2年3月1日（日） ※中止
場 所	土浦市霞ヶ浦総合公園周辺湖岸並びに湖内
主 催	霞ヶ浦問題協議会，チャレンジいばらき県民運動，（公財）茨城県企業公社，土浦市
参加者	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止（R2.2.25決定）

③他団体への後援

他の団体が行う活動で、県民運動の趣旨に合致し、県民運動の推進に寄与するものについて、後援を行いました。

【後援名義使用承認件数（詳細は別表5参照）】

分 野	団体数	分 野	団体数
青少年育成関連	3	まちづくり関連	1
環境関連	4	芸術，文化，スポーツ関連	1
福祉関連	4	その他	3
		合 計	16

④会員の拡大

各種会議，広報紙やホームページ等により新規会員の募集に努めました。

	H31年3月末現在	新 規	退 会	R2年3月末現在
団 体	245	0	7	238
個 人	231	0	6	225

エ 生活学校との連携・協働

地球温暖化や廃棄物問題など年々深刻化する地球規模での環境問題を解決するため、

茨城県生活学校連絡会などと連携し、県民一人ひとりが“もったいない”の気持ちを大切に、家庭や地域、学校、職場など様々な場において、省エネルギー・省資源・4Rなどの環境保全のための実践活動に取り組む「エコライフ運動」を推進しました。

①食を通じたエコライフ運動の実施

県民一人ひとりが身近な食を通して、環境に対する理解を深め、家庭や地域など様々な場面において環境に配慮したライフスタイルの普及・推進に努めました。

【食を通じたエコライフについて学ぶ勉強会】

第1回	日 時	令和元年5月22日（水） 10:00～
	会 場	茨城県三の丸庁舎 共用会議室
	内 容	○講演会「食品ロスへの取組み」 講師：茨城大学教育学部教授 西川 陽子 氏 ・食品ロスにおける現状と課題 ・食の安全への対応
	参加者	101人
第2回	日 時	令和元年10月18日, 11月26日, 11月30日, 12月17日, 12月24日
	会 場	潮来市延方公民館ほか4会場
	内 容	○エコクッキング教室 ・食べ切り・使い切り料理（廃棄食材を少なくするためのアイデア料理）の推進について ・調理実習
	参加者	160人
第3回	日 時	令和元年10月20日（日） 10:00～
	会 場	潮来市立潮来公民館
	内 容	○講演会「もったいない みんなでへらそう食品ロス！！」 講師：ジャーナリスト・環境カウンセラー 崎田 裕子 氏 ・世界と日本の食品ロス ・どう減らす？くらしの食品ロス
	参加者	215人

【食を通じたエコライフに関する活動発表会】

日 時	令和2年2月7日（金） 10:00～
会 場	茨城県三の丸庁舎 茨城県水戸生涯学習センター大講座室
内 容	○各生活学校からの活動報告 ○講演会「日本の食文化は残さない食文化」 ～食品ロス&プラスチックを考える～ 講師：茨城大学特任教授 長谷川 幸介 氏
参加者	88人

②4R実践活動の推進

茨城県生活学校連絡会と連携し、イベント等を通じてエコライフ登録団体等に対して4R実践活動を推進しました。

- ・県庁（2階県民ホール）でのパネル展示
- ・古布、牛乳パック等を使った小物作り
- ・地産地消フードマイレージ、エコクッキングの推進普及活動

4 R	Reduce（リデュース）	ゴミを減らす
	Reuse（リユース）	繰り返し使う
	Recycle（リサイクル）	資源として再利用する
	Refuse（リヒューズ）	いらぬものは断る

別表1

市町村別地域活動員（ネットワーク）委嘱者数

令和2年3月31日現在

市町村名	H31.3.31 現在	R2.3.31 現在	増減	市町村名	H31.3.31 現在	R2.3.31 現在	増減	
水戸市	37	33	-4	筑西市	70	65	-5	
日立市	22	21	-1	坂東市	23	20	-3	
土浦市	18	16	-2	稲敷市	4	4	0	
古河市	21	20	-1	かすみがうら市	17	12	-5	
石岡市	12	7	-5	桜川市	17	16	-1	
結城市	26	20	-6	神栖市	36	36	0	
龍ヶ崎市	4	3	-1	行方市	33	35	2	
下妻市	34	34	0	鉾田市	4	4	0	
常総市	31	28	-3	つくばみらい市	4	4	0	
常陸太田市	13	11	-2	小美玉市	24	21	-3	
高萩市	14	14	0	東茨城郡	茨城町	11	11	0
北茨城市	23	20	-3		大洗町	59	51	-8
笠間市	61	55	-6		城里町	11	11	0
取手市	44	25	-19	那珂郡	東海村	13	13	0
牛久市	25	24	-1	久慈郡	大子町	10	10	0
つくば市	29	24	-5	稲敷郡	美浦村	29	27	-2
ひたちなか市	32	29	-3		阿見町	45	46	1
鹿嶋市	18	16	-2		河内町	3	2	-1
潮来市	23	22	-1	結城郡	八千代町	12	10	-2
守谷市	28	28	0	猿島郡	五霞町	18	18	0
常陸大宮市	30	26	-4		境町	15	13	-2
那珂市	14	13	-1	北相馬郡	利根町	37	42	5
				合計	1,054	960	-94	

内訳 新規委嘱 32
解職 126

別表2

ネットワーカー等連絡協議会設立状況

令和2年3月31日現在

No.	市町村名	協議会名称	会員数	設立年月日
1	水戸市	水戸市ネットワーカー連絡協議会	31	平成22年9月11日
2	日立市	大好きひたちネットワーク	20	平成17年5月21日
3	土浦市	土浦市ネットワーカー等連絡協議会	16	平成12年3月29日
4	古河市	古河市ネットワーカー等連絡協議会	1	平成19年9月23日
5	石岡市	石岡市ネットワーカー活動連絡協議会	7	平成14年6月19日
6	結城市	結城市ネットワーカー等連絡協議会	20	平成14年1月30日
7	龍ヶ崎市	ネットワークドラゴンズ	—	平成15年11月13日
8	下妻市	下妻市ネットワーカー等連絡協議会	34	平成18年4月12日
9	常総市	ネットワーカー常総	28	平成21年5月10日
10	常陸太田市	おおたネットワーク	10	平成19年6月13日
11	高萩市	高萩ネットワーカー連絡協議会	14	平成30年5月18日
12	北茨城市	大好き北茨城ネットワーカー協議会	20	平成14年11月7日
13	笠間市	大好きかさまネットワーカー連絡協議会	55	平成18年5月15日
14	牛久市	牛久市ネットワーカー連絡協議会	24	平成10年10月9日
15	つくば市	つくば市ネットワーカーの会	17	平成14年3月25日
16	ひたちなか市	ひたちなか市ネットワーカー連絡協議会	29	平成23年7月29日
17	鹿嶋市	ネットワーカーかしま	16	平成12年1月17日
18	潮来市	潮来市ネットワーカー連絡協議会	22	平成15年10月2日
19	守谷市	守谷市ネットワーカー連絡協議会	28	平成15年11月15日
20	常陸大宮市	常陸大宮市ネットワーカー協議会	26	平成19年8月10日
21	那珂市	那珂市ネットワーカー連絡協議会	13	平成17年5月17日
22	筑西市	筑西市ネットワーカー協議会	65	平成18年5月18日
23	坂東市	坂東市ネットワーカー連絡協議会	20	平成17年6月3日
24	稲敷市	新利根町ネットワーカー等連絡協議会	—	平成10年9月24日
25	かすみがうら市	霞ヶ浦地区ネットワーカー等連絡協議会	—	平成10年10月21日
26		かすみがうら市千代田地区ネットワーカー等連絡協議会	7	平成15年7月14日
27	桜川市	桜川市ネットワーカー協議会	16	平成19年6月16日

No.	市町村名	協 議 会 名 称	会員数	設立年月日
28	神 栖 市	ネットワーカーかみす	36	平成19年11月29日
29	行 方 市	なめがたネットワーカー連絡協議会	34	平成27年11月19日
30	銚 田 市	銚田市ネットワーカー等連絡協議会	—	平成10年10月9日
31	つくばみらい市	つくばみらい市ネットワーカー等連絡協議会	—	平成14年5月30日
32		やわらネットワーカー連絡協議会	—	平成18年3月23日
33	小 美 玉 市	小美玉ネット	21	平成18年11月13日
34	茨 城 町	茨城町ネットワーカー等連絡協議会	9	平成15年11月22日
35	大 洗 町	大洗町ネットワーカー等連絡協議会	45	平成27年11月20日
36	城 里 町	しろさとネットワーカー等連絡協議会	11	平成28年10月28日
37	東 海 村	東海村ネットワーカー協議会	13	平成16年3月22日
38	大 子 町	大子町ネットワーカー協議会	10	平成20年4月24日
39	美 浦 村	大好き美浦村ネットワーカー協議会	27	平成20年4月5日
40	阿 見 町	阿見町ネットワーカー協議会	46	平成20年7月22日
41	八 千 代 町	八千代町ネットワーカー等連絡協議会	10	平成14年9月20日
42	五 霞 町	五霞町ネットワーカー連絡協議会	18	平成10年10月19日
43	境 町	境町ネットワーカー等連絡協議会	13	平成10年3月4日
44	利 根 町	利根町ネットワーカー協議会	42	平成11年10月26日

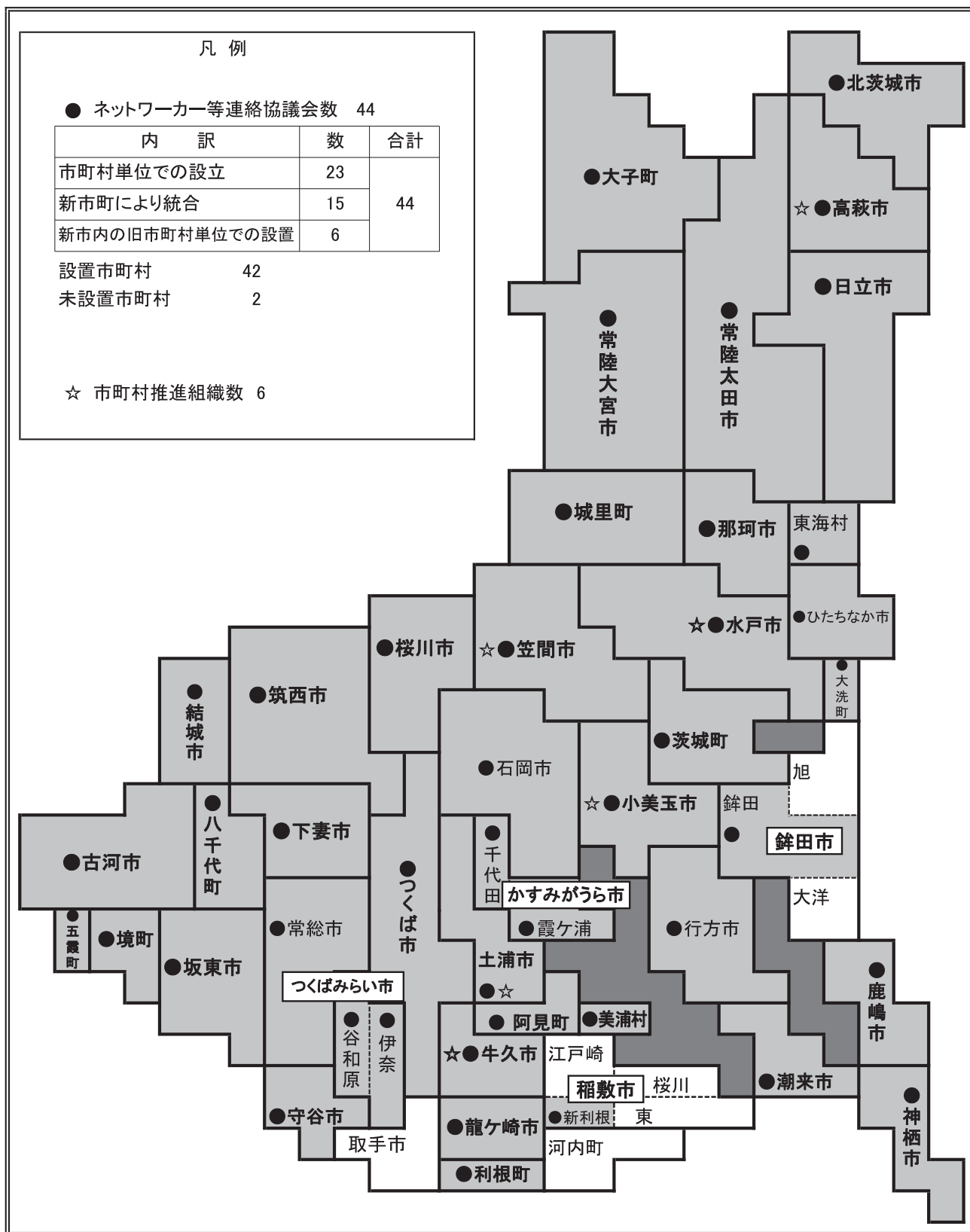
別表3

市町村県民運動推進組織設立状況

No.	市町村名	推 進 組 織 名	登録年度
1	水 戸 市	水戸市住みよいまちづくり推進協議会	平成8年度
2	土 浦 市	土浦市まちづくり市民会議	平成14年度
3	高 萩 市	高萩市市民憲章推進協議会	平成15年度
4	笠 間 市	笠間市民憲章推進協議会	平成19年度
5	牛 久 市	ふれあい美花市民の会	平成16年度
6	小 美 玉 市	小美玉市まちづくり組織連絡会	平成12年度

ネットワーク等連絡協議会及び市町村推進組織設立状況

令和2年3月31日現在



別表 4

令和元年度交流サロンのいばらき利用状況一覧

	開館 実日数	来訪・利用者		内 訳					
				会 議 室		印 刷 機		パソコン 利用者数	インターネット アクセス件数
		総人員	1日平均	利 用 団体数	利用者数	利 用 団体数	印刷枚数		
4月	24	1,116	46.5	58	346	80	95,748	13	3,743
5月	21	989	47.1	26	286	73	89,468	14	3,977
6月	26	1,087	41.8	35	372	74	108,227	12	6,562
7月	24	941	39.2	32	308	49	43,697	20	7,982
8月	25	880	35.2	26	279	42	40,543	15	13,685
9月	24	961	40.0	29	289	61	72,659	14	7,881
10月	22	788	35.8	30	310	57	60,054	5	5,953
11月	23	757	32.9	23	216	58	38,126	4	6,772
12月	24	791	33.0	29	277	41	30,738	7	5,255
1月	22	777	35.3	28	261	47	64,873	6	3,699
2月	23	851	37.0	30	330	48	43,340	16	4,517
3月	25	695	27.8	31	287	37	33,552	12	3,633
合 計	283	10,633	37.6	377	3,561	667	721,025	138	73,659
累計 (H11.11.11~)	5,723	209,363	36.6	7,002	66,711	15,495	17,650,474	3,971	716,746

令和元年度チャレンジいばらき県民運動 後援事業一覧

番号	後援事業名	実施期日	団体名
1	2019年度霞ヶ浦水質浄化ポスターコンクール	9月6日	茨城県霞ヶ浦環境科学センター
2	LOVE TREIN 常総 ～友達からでもいいですか～	8月25日	LOVE TRAIN 常総実行委員会 (坂東市企画部市民協働課)
3	すてきな出会い ふれあいパーティー	10月20日	ひたちなか市ネットワーク ワーカー連絡協議会
4	若者挑戦！2019 草刈りボランティア	8月11日	いばらき 新鮮組
5	第24回茨城県健康福祉祭いばらきねんりん スポーツ大会	10月23日	(社福)茨城県社会福祉協議会 茨城わくわくセンター
6	第13回 林の中の美術展	10月9日～ 10月13日	神栖市うずも美術協会・林の 中の美術展実行委員会
7	いばらき読書フェスティバル2019	11月3日	茨城県立図書館
8	第69回茨城県社会福祉大会	10月25日	(社福)茨城県社会福祉 協議会
9	ナイスハートふれあいフェスティバル2019	12月5日～ 12月9日	茨城県保健福祉部障害 福祉課
10	食品ロス(廃棄食材)講演会	10月20日	茨城県生活学校連絡会
11	2020キャンドルナイト 「東日本大震災復興祈願」(開催中止)	3月11日	利根町ネットワーク 協議会
12	第7回茨城県エイズ・性感染症予防啓発大会 (令和元年度HIV医療講習会)	12月8日	茨城県医師会
13	令和元年度 青少年健全育成茨城県推進大会	2月5日	(公社)茨城県青少年育 成協会
14	常陸国YOSAKOI祭り(第17回YOSAKOI茨 城大会)(開催延期)	5月16日～ 5月17日	常陸国YOSAKOI祭 り本部委員会
15	茨城県生活学校連絡会研究集会	2月7日	茨城県生活学校連絡会
16	第29回羽鳥 クイズウォークラリー	2月22日	青少年を育てる小美玉 市民の会

令和元年度 歳入歳出決算

(提案理由)

以下のとおり、令和元年度の歳入歳出決算を報告し、議決承認を求めるものであります。

1 歳入の部

(単位：円)

項 目	最終予算額 (A)	決 算 額 (B)	増 減 額 (B-A)	備 考
1 会費	2,472,000	2,472,000	0	団体会員会費(2,370,000円) 個人会員会費(102,000円)
2 補助金	25,375,000	25,375,000	0	チャレンジいばらき県民運動補助 (25,375,000円)
3 委託金	5,963,000	5,963,000	0	
(1)茨城県	5,303,000	5,303,000	0	交流サルーンいばらき管理運営 (5,103,000円) 食を通じたエコライフ運動推進事業 (200,000円)
(2)茨城県教育委員会	510,000	510,000	0	花と緑の環境美化コンクール開催費
(3)あしたの日本を創る協会	150,000	150,000	0	生活学校関連事業
4 共催金	1,300,000	1,300,000	0	
(1)げんでんふれあい茨城財団	800,000	800,000	0	花いっぱい運動定着化促進事業
(2)日立財団	500,000	500,000	0	作文コンクール共催金
5 諸収入	674,000	661,896	△ 12,104	利子, 交流サルーンの印刷機器等の利用収入等
6 繰越金	3,995,000	3,995,373	373	
計	39,779,000	39,767,269	△ 11,731	

2 歳出の部

(単位：円)


項 目	最終予算額 (A)	決 算 額 (B)	増 減 額 (B-A)	備 考
1 県民活動事業費	12,965,000	12,948,802	△ 16,198	
(1)幸せ人財育成サポート事業費	4,250,000	4,252,615	2,615	共助社会づくりフォーラム 共助意識の醸成(作文コンクール) 共助社会づくりを実現するための人材 活用(コミュニティワーク)
(2)地域の幸せ力アップ事業費	3,597,000	3,597,268	268	おもてなし いばらき花運動 花いっぱい運動定着化促進事業
(3)幸せ発信力アップ事業費	4,546,000	4,523,302	△ 22,698	いばらき幸せ発信事業(広報紙ほか) 県民運動PRのための啓発品 一人ひとりと自慢ひとと幸せ発信運動
(4)IT活用推進事業費	572,000	575,617	3,617	IT活用検討会 HP管理運営
2 地域活動支援事業費	2,020,000	1,992,811	△ 27,189	若い世代とつくる新たな地域づくり 地域活動サポート事業
3 NPO等連携協働事業費	6,281,000	6,368,443	87,443	NPO等連携協働促進事業 団体連携事業 交流サークル管理運営
4 運営費	13,880,000	13,765,905	△ 114,095	
(1)人件費	11,200,000	11,123,408	△ 76,592	事務局4人分
(2)会議費等	301,000	276,141	△ 24,859	理事会, アドバイザー, 推進員の旅費 等
(3)管理費	2,379,000	2,366,356	△ 12,644	賃借料, 電話代, 郵送料等
5 予備費	0	0	0	
計	35,146,000	35,075,961	△ 70,039	

歳入決算額 39,767,269円 - 歳出決算額 35,075,961円 = 4,691,308円
 差引残高4,691,308円は、令和2年度に繰り越します。

監 査 報 告 書

令和元年度におけるチャレンジいばらき県民運動の帳簿、証拠書類及び決算書について監査を行った結果、その内容が適正であったことを認めます。

令和 2 年 5 月 13 日

監 事 赤 萩 利 夫 

監 事 横 山 伸 一 

令和2年度 事業計画（案）

（提案理由）

下記のとおり、令和2年度事業計画を提案し、議決承認を求めるものであります。

【運営方針】

近年の急速な少子高齢化の進展に伴い、社会経済システムや生活スタイルが大きく変化し、人々の価値観やニーズの多様化、家族形態や就労形態の脆弱化など社会情勢は大きく変化する中、県民が幸せと感じる社会づくりが急務となっております。

このような中、茨城県では新しい茨城づくりに向けた総合計画を策定し、「活力があり、県民が日本一幸せな県の実現」に向けた「新しい茨城づくり」を進めているところです。

こうした中、「チャレンジいばらき県民運動」は、平成7年9月に設立された「大好きいばらき県民会議」の基本理念を引き継ぎ、福祉、環境、青少年、防犯など様々な分野での地域活動・市民活動を、県民、団体、企業、行政が手をつないで支えあい、共助による新しい茨城の実現に向けて、社会の課題に挑戦する県民運動を展開してまいります。

県民運動の企画や事業内容につきましては、グループリーダー・アドバイザーなどの外部有識者の意見を求めながら、身近な地域課題を自ら解決しようとする意識を持った人財を活用するとともに、県民の共助意識の醸成を図り、県民、NPO、団体などが連携しながら、身近な地域課題の解決に挑戦する県民の主体的な県民運動を進めます。

また、企業や大学などと連携しながら、次世代を担う新たな人づくりのサポートや地域の活動支援を進めるとともに、若い世代が県民運動に参加しやすい環境づくりを推進します。

【県民運動の展開】

1 幸せ人財育成のサポート

身近な地域課題を県民自ら解決し、住民自治を実践する人財や子どもたちの「思いやり」の心を醸成し、地域社会に貢献できる人財育成のサポートに取り組みます。

（1）県民運動への参加意識を醸成するためのフォーラムの開催

（2）地域社会に貢献できる人財育成の推進

- ・コミュニティワーク実践講座事業の実施
- ・小中学生を対象とした共助意識醸成のための作文コンクールの実施 など

2 地域の幸せ力アップ

地域に暮らす一人ひとりが、地域の担い手として支え合い、心豊かで持続可能なコミュニティの形成を進めるとともに、企業や大学と協働し、若者が主体的に取り組む地域活動やネットワークづくりを支援します。

（1）地域住民の共通の目的と共感でつながる県民運動の推進

- ・東京オリンピックに向けたおもてなし運動の実施
- ・環境美化、交通安全運動、あいさつ・声かけ運動
- ・ICTを活用した県民運動の大規模化 など

（2）企業や大学と協働し、若者が主体的に取り組む地域活動やネットワークづくりの支援

- ・地域活動員（ネットワーク）と企業や大学、学生の協働による地域活動の推進 など

3 幸せ発信力アップ

地域で活躍する人、伝統文化、方言や豊かな自然など本県の素晴らしい資源を発信し、茨城の豊かさを自慢する力を養い、魅力度向上に取り組みます。

(1) SNS等の媒体を活用した本県の魅力紹介

- ・インターネット、SNS等各種ツールを活用したチャレンジいばらき県民運動事業の発信、ネットワーカー等連絡協議会の活動情報などの紹介
- ・広報紙「ちゃれいばレター」の発行 など

(2) 地域資源の発見・発信強化

- ・地域活動員（ネットワーカー）を通じた地域資源・地域情報の発見と、地域資源・地域情報のインターネットを活用した紹介 など

4 ITの活用による幸せ力向上のサポート

ITを活用した県民運動を展開するための検討を進めてまいります。

5 県内地域における県民運動の推進

(1) 県民・NPO・企業・団体・大学・行政などによる協働の取り組みを推進します。

(2) 地域活動員（ネットワーカー）や市町村との連携を密にし、県民運動の地域への浸透を図り、地域課題の解決につなげます。

(3) 「交流サルーンいばらき」における地域活動団体の主体的な学びあいの場「寺子屋サルーン」の開催により地域活動を支援します。

第4号議案

令和2年度 歳入歳出予算（案）

（提案理由）

別記のとおり，令和2年度歳入歳出予算を提案し，議決承認を求めるものであります。

別記

令和2年度 歳入歳出予算（案）

1 歳入の部

（単位：千円）

項 目	当初予算額 (A)	前年度当初 予算額(B)	増 減 額 (A-B)	備 考
1 会費	2,830	2,912	△ 82	
(1)会 費	2,380	2,450	△ 70	組織会員会費(238 団体：2,380 千円) <増減要因> ・団体会員の減(△ 70 千円)
(2)賛助金	450	462	△ 12	個人会員賛助金(225 人：450 千円) <増減要因> ・賛助会員の減(△ 12 千円)
2 補助金	27,575	27,575	0	
(1)茨城県	27,575	27,575	0	チャレンジいばらき県民運動補助
3 委託金	6,013	6,013	0	
(1)茨城県	5,303	5,303	0	交流サルーン管理運営委託(5,103 千円) 食を通じたエコライフ運動事業委託(200 千円)
(2)茨城県教育委員会	510	510	0	花と緑の環境美化コンクール委託
(3)あしたの日本を創る協会	200	200	0	
4 共催金	1,200	1,300	△ 100	
(1)げんでんふれあい茨城財団	1,200	800	400	花いっぱい運動定着化促進事業 <増減要因> ・共催金の増(400 千円)
(2)日立財団	0	500	△ 500	<増減要因> ・日立財団における事業廃止(皆減)
5 諸収入	900	900	0	利子 等
6 繰越金	4,691	3,995	696	
計	43,209	42,695	514	

2 歳出の部

（単位：千円）

項 目	当初予算額 (A)	前年度当初 予算額(B)	増 減 額 (A-B)	備 考
1 県民活動事業費	16,240	13,890	2,350	
(1)幸せ人財育成サポート事業費	6,000	5,200	800	・共助社会づくりフォーラム(800 千円) ・【拡充】共助社会づくりを実現するための人財活用(4,000 千円) ・共助意識の醸成(作文コンクール)(1,200 千円) <増減要因> ・共助社会づくりフォーラムの減(△ 200 千円) ・共助社会づくりを実現するための人財活用の増(1,000 千円)
(2)地域の幸せ力アップ事業費	4,700	3,500	1,200	・【拡充】おもてなし いばらき花運動(2,900 千円) ・花いっぱい運動定着化促進事業(1,800 千円) <増減要因> ・東京オリンピックに向けたおもてなし運動による増(1,000 千円) ・花いっぱい運動定着化促進事業の増(200 千円)
(3)幸せ発信力アップ事業費	4,920	4,570	350	・一人ひと自慢ひと幸せ発信運動(70 千円) ・いばらき幸せ発信事業(広報紙発行など)(2,000 千円) ・県民運動PRのための啓発品(2,850 千円) <増減要因> ・県民運動PRのための啓発品の増(350 千円)
(4)IT活用推進事業費	620	620	0	・IT活用検討会(50 千円) ・HP管理費(570 千円)
2 地域活動支援事業費	3,200	3,600	△ 400	・若い世代とつくる新たな地域づくり(1,500 千円) ・地域活動サポート事業費(1,700 千円) 【増減要因】 ・地域活動サポート事業費の減(△ 400 千円)
3 NPO等連携協働事業費	7,000	7,200	△ 200	・NPO等連携協働促進事業費(300 千円) ・団体連携事業費(700 千円) ・交流サルーン管理運営費(6,000 千円) <増減要因> ・NPO等連携協働促進事業費の減(△ 200 千円)
4 運営費	15,769	17,005	△ 1,236	
(1)人件費	11,204	10,871	333	事務局4名分の人件費
(2)会議費等	800	1,500	△ 700	理事会, アドバイザー, 推進員の旅費等
(3)管理費	3,765	4,634	△ 869	消耗品費, 印刷製本費, 通信運搬費, 各種負担金 など
5 予備費	1,000	1,000	0	
計	43,209	42,695	514	

役員の選任（案）について

（提案理由）

副会長1名，理事3名及び監事1名の退任に伴い，チャレンジいばらき県民運動規約第5条の規定により，補充役員の選任を求めるものであります。

任期：令和3年3月31日まで

役職名	氏名	所属等
副会長	山口伸樹	茨城県市長会会長
理事	小野瀬繁子	茨城県学校長会会長
	鈴木哲也	公益財団法人茨城県国際交流協会理事長
	堀井武重	環境保全茨城県民会議副議長
監事	松浦浩生	茨城県県民生活環境部次長

チャレンジいばらき県民運動役員一覧

役職名	氏 名	所 属 等
会 長	大井川 和 彦	茨城県知事
副 会 長	山 口 伸 樹	茨城県市長会会長
	染 谷 森 雄	茨城県町村会会長
理 事 長	幡 谷 浩 史	茨城トヨタ自動車株式会社社長
副理事長	阿 部 真 也	茨城県産業会議議長
	幡 谷 定 俊	茨城トヨペット株式会社代表取締役社長
専務理事	小 林 由士郎	チャレンジいばらき県民運動
理 事	池 田 馨	特定非営利活動法人ひと・まちなつとわーく理事長
	伊 藤 達 也	公益財団法人茨城県老人クラブ連合会会長
	小野瀬 繁 子	茨城県学校長会会長
	川 崎 篤 之	株式会社いばらきスポーツタウン・マネジメント 代表取締役社長・ゼネラルマネージャー
	川 崎 幸 良	茨城県自治会連合会会長
	久信田 もと子	茨城県地域女性団体連絡会副会長
	小松澤 秀 幸	公益社団法人茨城県青少年育成協会副会長
	佐 川 雄 太	茨城県青年団体連盟会長
	佐 藤 洋 一	茨城県生活協同組合連合会会長理事
	鈴 木 恵 子	茨城県交通安全母の会連合会副会長
	鈴 木 哲 也	公益財団法人茨城県国際交流協会理事長
	高 橋 正 良	株式会社茨城放送 常務取締役
	寺 山 正 史	茨城県農業協同組合中央会総務企画部長
	沼 田 安 広	株式会社茨城新聞社代表取締役社長
	福 島 ヤヨヒ	茨城県生活学校連絡会副会長
	堀 井 武 重	環境保全茨城県民会議副議長
	松 橋 裕 子	一般社団法人茨城県女性起業家支援ネットワーク 代表理事
	三ツ堀 裕 太	株式会社ユニキャスト代表取締役
	森 戸 久 雄	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会会長
	矢 口 和 博	茨城県県民生活環境部長
吉 野 寛 美	茨城県消費者団体連絡会副会長	
鷺 田 美 加	オフィス ジブラッシュ代表	
監 事	赤 荻 利 夫	茨城県都市教育長協議会副会長
	松 浦 浩 生	茨城県県民生活環境部次長

チャレンジいばらき県民運動 規約

(名 称)

第1条 この会は、チャレンジいばらき県民運動（以下「当会」という。）という。

(目 的)

第2条 当会は、やさしさとふれあいのある茨城づくりと県民運動を通しての新しい茨城のイメージづくりをめざすとともに、県民一人一人が幸せを実感でき、共助による新しい茨城の実現を目指し、県民の主体的な県民運動を推進することを目的とする。

(構 成)

第3条 当会は、前条の目的に賛同する市町村県民運動推進組織、広域的・機能別県民運動団体、地域活動団体、企業、大学、市町村及び県（以下「団体等」という。）で構成する。

(事 業)

第4条 当会は、第2条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 県民運動の推進方策の企画・立案及び推進に関すること
- (2) 県民運動関係団体との連携・支援に関すること
- (3) 地域活動員（ネットワーク）の委嘱及び活動促進に関すること
- (4) 生活学校・生活会議の育成に関すること
- (5) 県民運動に関する情報・資料の収集及び提供に関すること
- (6) 県民運動の奨励及び表彰に関すること
- (7) 県民運動の広報・啓発に関すること
- (8) 県民運動に関する調査研究に関すること
- (9) その他、目的達成に必要な事業

(役 員)

第5条 当会に次の役員を置く。

- (1) 会 長 1 名
- (2) 副会長 若干名
- (3) 理事長 1 名
- (4) 副理事長 若干名
- (5) 専務理事 1 名
- (6) 理 事 30名以内（理事長、副理事長及び専務理事を含む。）
- (7) 監 事 2 名

2 会長、副会長、理事及び監事は総会で選任する。

3 理事長、副理事長及び専務理事は、理事会において互選する。

(役員の仕事)

第6条 会長は、当会を代表する。

2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を代行する。

3 会長及び副会長は、必要と認めるとき、理事会に出席して意見を述べるができる。

- 4 理事長は、当会の会務を総括する。
- 5 副理事長は、理事長を補佐し、理事長に事故あるときは、その職務を代行する。
- 6 専務理事は、理事長及び副理事長を補佐し、当会の会務を処理する。
- 7 理事は、理事会を構成し、必要な事項を審議する。
- 8 監事は、会計その他の事務を監査する。

(役員任期)

第7条 役員任期は2年とし、再任を妨げない。

- 2 補欠のため(定数の増加に伴う補充も含む。)選任された役員任期は、前任者の残任期間とする。
- 3 前2項の規定にかかわらず、任期の末日において後任の役員が選任されていない場合には、任期の末日後最初の総会が終結するまでその任期を延長する。

(顧問)

第8条 当会に顧問を置くことができる。

- 2 顧問は、会長が委嘱する。
- 3 顧問は、重要事項について会長の諮問に応じる。

(アドバイザー)

第9条 当会にアドバイザーを置く。

- 2 アドバイザーは、理事長が委嘱する。
- 3 アドバイザーは、県民運動の推進方策の企画・立案に助言する。

(会議)

第10条 当会の会議は、総会、理事会とする。

- 2 総会は、第3条に規定する団体等の代表者で構成し、会長が招集する。
- 3 総会は、理事長が議長となり、次の事項を審議決定する。
 - (1) 規約の制定及び改廃に関する事
 - (2) 事業計画に関する事
 - (3) 予算及び決算に関する事
 - (4) 会長、副会長、理事及び監事の選任に関する事
 - (5) その他重要事項に関する事
- 4 理事会は、理事長が招集して議長となり、次の事項を審議決定する。
 - (1) 総会への付託事項に関する事
 - (2) 団体等の入会に関する事
 - (3) 県民運動の推進方策に関する事
 - (4) 会務の執行に関する事
 - (5) その他必要と認められる事項に関する事
- 5 (1) 会議は、構成員(総会の場合は第3条に規定する団体等の代表者、理事会の場合は理事)の2分の1以上の出席をもって成立する。
 - (2) 会議の議事は、出席者の過半数で決定し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
 - (3) やむを得ない理由により会議に出席できない構成員は、他の構成員を代理人として表決を委任することができる。この場合、会議に出席したものとみなす。

(書面による審議)

第11条 理事長は、必要があると認めたときは、書面をもって理事の意見を求めて、理事会の議決に代えることができる。

(理事長の専決)

第12条 理事長は、総会が招集されるいとまのない場合は、理事会に諮りこれを専決処分することができる。

2 理事長は、前項の規定により専決処分したときは、次の総会に報告しなければならない。

(グループの設置)

第13条 当会の事業を効果的かつ円滑に推進するためグループを置く。

2 グループにグループリーダーを置く。

3 グループに必要な事項は、理事会に諮って理事長が別に定める。

(グループリーダー・アドバイザー会議)

第14条 県民運動の推進方策の企画・立案及び推進のためグループリーダー・アドバイザー会議（以下「グループリーダー会議」という。）を設ける。

2 グループリーダー会議に必要な事項は、理事会に諮って理事長が別に定める。

(個人会員)

第15条 当会の目的に賛同し、その活動に参加、協力する個人は、個人会員となることができる。

2 個人会員は、賛助会員とする。

3 その他必要な事項は、理事長が別に定める。

(会計)

第16条 当会の経費は、会費、補助金、委託金、共催金、賛助金、その他の収入をもって充てる。

2 団体等は、原則として年額一口1万円とする。

3 個人会員の賛助金は、原則として年額一口2千円とする。

4 当会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日をもって終わる。

(事務局)

第17条 当会の事務を処理するため、当分の間、事務局を茨城県県民生活環境部女性活躍・県民協働課内に置く。

2 事務局の規程は、理事長が別に定める。

(その他)

第18条 この規約に定めるもののほか、当会の運営に関し必要な事項は、理事長が定める。

付 則

この規約は、平成30年5月29日から施行する。

チャレンジいばらき県民運動 グループ設置要項

(設置の目的)

第1条 チャレンジいばらき県民運動の事業を効果的かつ円滑に推進するため、チャレンジいばらき県民運動規約（以下「規約」という。）第13条の規定に基づき、次のグループを置く。

- (1) 人財サポートグループ
- (2) 地域活動支援グループ
- (3) 魅力発見・発信グループ
- (4) IT活用グループ

(分掌事項)

第2条 グループの分掌事項は、次のとおりとする。

- (1) 人財サポートグループ
 - ①次世代を担う人財づくりの運動に関する事。
 - ②豊かさを誇れる人財づくりの運動に関する事。
- (2) 地域活動支援グループ
 - ①共助による新しいコミュニティづくりの運動に関する事。
 - ②住み続けたいくなるまちづくりの運動に関する事。
- (3) 魅力発見・発信グループ
 - ①魅力発見・発信の運動に関する事。
 - ②ITの普及に関する事。
- (4) IT活用グループ
 - ①ITを活用した県民運動の検討に関する事。
 - ②各グループの横断的な支援に関する事。

(構成員)

第3条 グループ分掌事項実施のため県民活動推進員（以下「推進員」という。）を選任する。

- 2 推進員は、学識経験者、有識者、県民運動実践者及び行政に携わる者のうちから、理事会に諮って理事長が選任する。
- 3 推進員の人数は40名程度とする。
- 4 推進員は、原則として第2条のいずれかのグループに所属するものとする。

(推進員の任期)

第4条 推進員の任期は1期2年とし、再任を妨げない。

- 2 補欠のため（定数の増加に伴う補充を含む）選任された推進員の任期は、前任者の残任期間とする。

(ゼネラルマネージャー)

第5条 各グループの調整役として、ゼネラルマネージャー（以下「GM」という。）を置くことができる。

- 2 GMは、推進員のうちから事務局長が選任する。
- 3 GMの任期は1年とし、再任を妨げない。

(グループの役員)

第6条 グループの役員として、グループリーダー（以下「リーダー」という。）及びサブリーダーを置く。

- 2 グループの役員は、各グループにおいて互選する。
- 3 リーダーは、グループを代表し、グループの会務を総括する。
- 4 サブリーダーは、リーダーを補佐し、リーダーに事故があるとき若しくはリーダーが欠けたときは、その職務を代行する。
- 5 各グループの役員の任期は1年とし、再任を妨げない。

(会 議)

第7条 グループ会議は、リーダーが招集し、会議の議長となる。

(その他)

第8条 この要項に定めのあるもののほか、グループの運営に関して必要な事項は、理事長が別に定める。

付 則

- 1 この要項は、平成30年7月3日から施行する。
- 2 旧県民運動推進委員の残任期間は、第4条の規定にかかわらず、これを引き継ぐものとする。

付 則

この要項は、令和2年3月24日から施行する。

チャレンジいばらき県民運動 グループリーダー・アドバイザー会議設置要項

(設置の目的)

第1条 県民運動の推進方策の企画・立案及び推進のため、グループリーダー・アドバイザー会議（以下「グループリーダー等会議」という。）を置く。

(構成員)

第2条 グループリーダー等会議の構成員は、チャレンジいばらき県民運動規約（以下「規約」という。）第9条に規定するアドバイザー及び規約第13条に規定するグループリーダーとする。

(会議)

第3条 グループリーダー等会議は、事務局長が招集し、会議の議長となる。

(その他)

第4条 この要項に定めのあるもののほか、グループリーダー等会議の運営に関して必要な事項は、理事長が別に定める。

付 則

この要項は、平成30年7月3日から施行する。

チャレンジいばらき県民運動 会員名簿

令和2年4月1日現在

〔会員数総括表〕

区 分	会 員 数
市町村県民運動推進組織	6
県域団体	82
企 業	105
市町村会員	44
県	1
合 計	238

個人会員	225人
------	------

市町村推進組織（6）

1	小美玉市まちづくり組織連絡会
2	笠間市民憲章推進協議会
3	高萩市市民憲章推進協議会

4	土浦市まちづくり市民会議
5	ふれあい美花市民の会
6	水戸市住みよいまちづくり推進協議会

団体（82）

1	NPO法人アスク
2	茨城空港利用促進等協議会
3	「茨城アジア教育基金」を支える会
4	(一社) 茨城県安全運転管理協会
5	(一社) 茨城県医師会
6	(公社) 茨城県栄養士会
7	(公財) 茨城県開発公社
8	(公財) 茨城県学校給食会
9	茨城県学校長会
10	(一社) 茨城県環境管理協会
11	(公社) 茨城県看護協会
12	(一社) 茨城県経営者協会
13	(一財) 茨城県建設技術公社
14	(一社) 茨城県建築士会
15	(一社) 茨城県建築士事務所協会
16	(一社) 茨城県高圧ガス保安協会
17	(一財) 茨城県交通安全協会
18	茨城県交通安全母の会連合会
19	茨城県高等学校長協会
20	茨城県高等学校PTA連合会
21	(公財) 茨城県国際交流協会
22	茨城県国民健康保険団体連合会
23	茨城産業会議
24	(公社) 茨城県歯科医師会
25	茨城県自治会連合会
26	茨城県市長会・町村会
27	茨城県自動車販売店交通安全対策推進協議会
28	茨城県社会教育振興協議会
29	(社福) 茨城県社会福祉協議会
30	茨城県商工会議所女性会連合会
31	茨城県商工会議所青年部連合会
32	茨城県商工会議所連合会
33	茨城県商工会女性部連合会
34	茨城県商工会青年部連合会
35	茨城県商工会連合会
36	茨城県少年団体連絡協議会
37	茨城県消費者団体連絡会
38	茨城県食生活改善推進員協議会
39	(公社) 茨城県食品衛生協会
40	茨城県生活学校連絡会
41	茨城県生活協同組合連合会
42	(公社) 茨城県青少年育成協会
43	茨城県青年団体連盟
44	茨城県セーリング連盟
45	(一社) 茨城県造園建設業協会
46	(公財) 茨城県体育協会
47	茨城県地域女性団体連絡会
48	茨城県中小企業団体中央会
49	茨城県庁生活協同組合
50	茨城県土地改良事業団体連合会

51	茨城県農業協同組合中央会
52	茨城県農業法人協会
53	茨城県PTA連絡協議会
54	茨城県保育協議会
55	茨城県民間保育協議会
56	(公社) 茨城県薬剤師会
57	茨城県幼少年婦人防火委員会
58	(公社) 茨城県臨床検査技師会
59	(公財) 茨城県老人クラブ連合会
60	いばらきコープ生活協同組合
61	茨城ダルク今日も一日ハウス
62	茨城文化団体連合
63	NPO法人エコグリーンいばらき
64	NPO法人エコレン
65	かいつむりの会
66	笠間稲荷神社
67	霞ヶ浦問題協議会
68	学校法人木村学園 石岡幼稚園
69	環境保全茨城県民会議
70	下館輪投げの会
71	NPO法人障害者雇用促進協会
72	(社福) 自立奉仕会
73	生活協同組合バルシステム茨城 栃木
74	生活支援ネットワーク・介護セブン
75	(社福) 聖隷会 しらゆり保育園
76	NPO法人筑波山環境クラブ
77	NPO法人ひと・まちなえっとわーく
78	鱸づな会
79	(公社) 日本青年会議所関東地区茨城ブロック協議会
80	ひたちなかユネスコ協会
81	(社福) 芳香会
82	NPO法人ぼかぼかくらぶ

企業 (105)

1	(株) 秋山工務店	61	(株) 田中企画 水戸営業所
2	(株) あげぼの印刷社	62	(株) 月の井酒造店
3	アサヒビール (株) 茨城工場	63	(株) 筑波銀行
4	イオンリテール (株) 北関東カンパニー茨城事業部	64	(株) つくば研究支援センター
5	(株) 石川工業所	65	東京海上日動火災保険 (株) 茨城自動車営業部営業部第1課
6	茨城いすゞ自動車 (株)	66	(有) 東京総合染色
7	茨城県信用組合	67	(株) トビタ文具
8	茨城ケント販売 (株)	68	トヨタL&F茨城 (株)
9	茨城工芸産業 (株)	69	(株) トヨタレンタリース茨城
10	茨城交通 (株)	70	中川ヒューム管工業 (株)
11	(株) 茨城新聞社	71	(株) 奈良屋
12	茨城水産 (株)	72	(株) 西山工務店
13	茨城倉庫 (株)	73	日東電気 (株)
14	茨城トヨタ自動車 (株)	74	日東メンテナンス (株)
15	茨城トヨペット (株)	75	日本放送協会 水戸放送局
16	茨城日産自動車 (株)	76	(株) 日本クリエート茨城
17	(株) 茨城放送	77	日本原子力発電 (株) 東海事業本部地域共生部茨城事務所
18	(株) 茨城ポートオーソリティ	78	損害保険ジャパン日本興亜 (株)
19	(株) ウライ文具	79	日本たばこ産業 (株) 東関東支社
20	ウルノ商事 (株)	80	(株) ヌマタ商事
21	NTT 東日本 (株) 茨城支店	81	ネットヨタ水戸 (株)
22	オークラフロンティアホテルつくば	82	ハタヤ商事 (株)
23	(株) 大塚製作所	83	(株) 幡谷本店
24	大富印刷 (株)	84	(株) 日立製作所
25	(株) 笠間印刷所	85	日立セメント (株)
26	鹿島都市開発 (株)	86	(株) フジタビジネスマシズ
27	鹿島埠頭 (株)	87	(株) 富士菱
28	鹿島臨海工業地帯企業連絡協議会	88	(株) 富士屋ホテル
29	鹿島臨海鉄道(株)	89	(株) 双葉
30	(株) カスミ	90	(株) ヘレナメディアリサーチ
31	株木建設 (株) 茨城本店	91	北越コーポレーション (株) 関東工場
32	(株) 沼田機業	92	ホテルレイクビュー水戸
33	(株) ルックアット	93	(株) 水戸京成百貨店
34	亀印製菓 (株)	94	水戸京成ホテル (株)
35	関東印刷 (株)	95	(有) 水戸山翠商事
36	木内酒造合資会社	96	水戸自動車工業 (株)
37	(株) きど印刷所	97	水戸信用金庫
38	キリンビール (株) 取手工場	98	水戸中央青果 (株)
39	近畿日本ツーリスト (株) 水戸支店	99	水戸ヤクルト販売 (株)
40	(株) ケーズホールディングス	100	(有) ミノワ印刷
41	(有) こうじや	101	明利酒類 (株)
42	(株) 光和印刷	102	八幡印刷 (株) 水戸営業所
43	コスモ総合建設 (株)	103	結城信用金庫
44	(株) 寿	104	(株) 竜ヶ崎自動車教習所
45	五洋建設 (株) 茨城営業所	105	(有) 和敬ビル
46	(株) 笹目宗兵衛商店		
47	三の丸ホテル		
48	JX 金属 (株)		
49	(株) ジョイフル本田		
50	(株) 常陽銀行		
51	常洋水産 (株)		
52	昭和建設 (株)		
53	鈴縫工業 (株)		
54	(医) 青藍会 大場内科クリニック		
55	(医) 聖和会 つくば病院		
56	(株) セイワ食品		
57	関彰商事 (株)		
58	(株) タイハイ		
59	(株) 高野高速印刷		
60	(株) タナカ		

市町村 (44)

1	水戸市
2	日立市
3	土浦市
4	古河市
5	石岡市
6	結城市
7	龍ヶ崎市
8	下妻市
9	常総市
10	常陸太田市
11	高萩市
12	北茨城市
13	笠間市
14	取手市
15	牛久市
16	つくば市
17	ひたちなか市
18	鹿嶋市
19	潮来市
20	守谷市
21	常陸大宮市
22	那珂市

23	筑西市
24	坂東市
25	稲敷市
26	かすみがうら市
27	桜川市
28	神栖市
29	行方市
30	鉾田市
31	つくばみらい市
32	小美玉市
33	茨城町
34	大洗町
35	城里町
36	東海村
37	大子町
38	美浦村
39	阿見町
40	河内町
41	八千代町
42	五霞町
43	境町
44	利根町

県 (1)

1	茨城県 (女性活躍・県民協働課)
---	------------------

チャレンジいばらき県民運動 アドバイザー名簿

令和2年4月1日現在

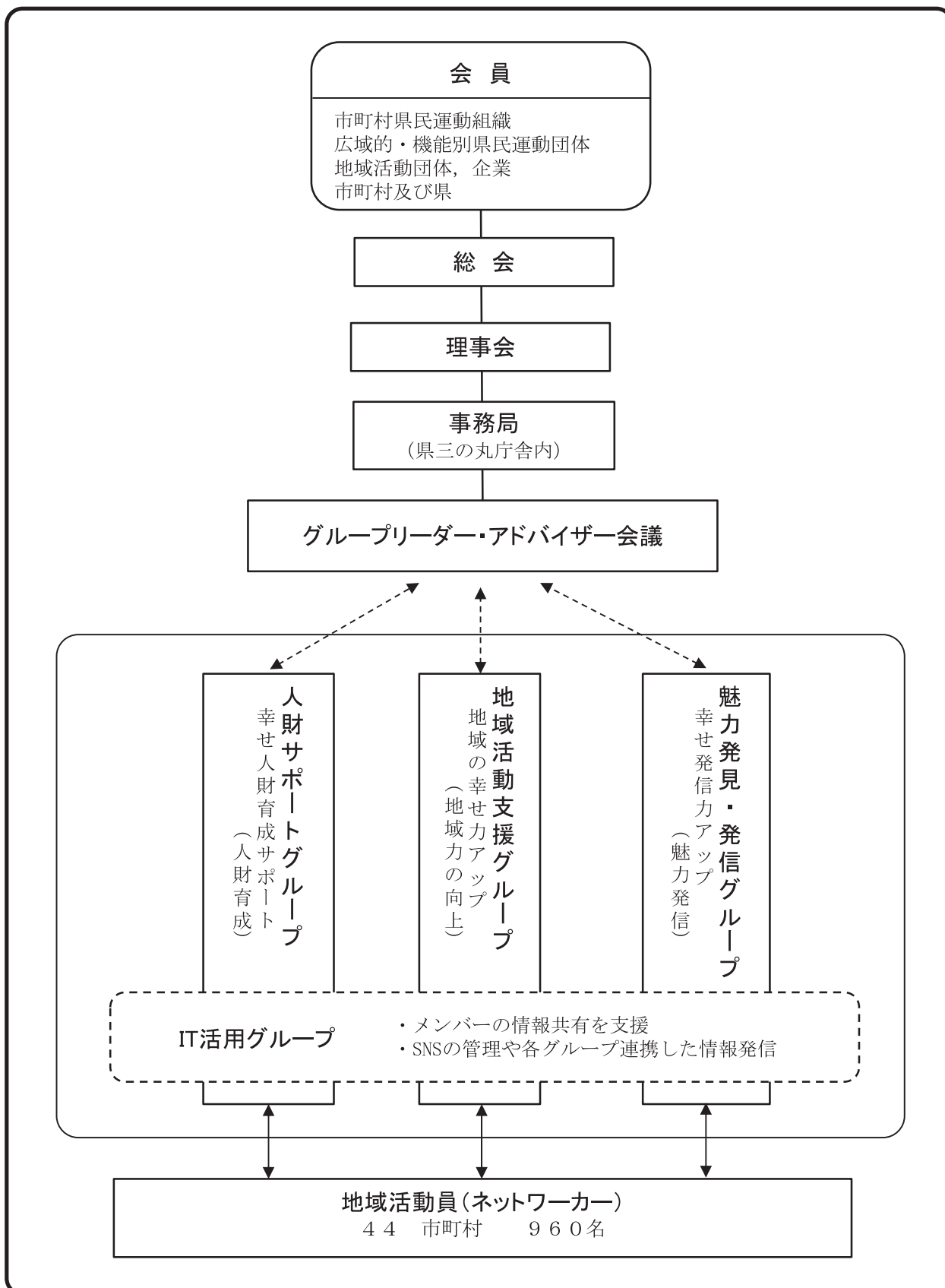
	氏名	所属	分野	備考
1	川崎 篤之	株式会社いばらきスポーツタウン・マネジメント	地域活動支援	企業・大学との連携
2	菊池 一俊	一般社団法人カミスガプロジェクト	地域活動支援	企業・大学との連携
3	助田 徹臣	いばらき広報戦略アドバイザー	魅力発見・発信	広報スタイル
4	松橋 裕子	一般社団法人茨城県女性起業家支援ネットワーク	地域活動支援	若い世代の参加促進
5	三ツ堀 裕太	株式会社ユニキャスト	魅力発見・発信	IT活用
6	横須賀 聡子	特定非営利活動法人セカンドリーグ茨城	地域活動支援	新しい共助社会づくり
7	鷺田 美加	オフィス ジブラッシュ	地域活動支援	若い世代の参加促進

チャレンジいばらき県民運動 県民活動推進員名簿

令和 2 年 4 月 1 日現在

番号	氏 名	所 属 等	期 数	備 考
1	飯 住 澄 夫	坂東市ネットワーカー連絡協議会	4 期	
2	飯 村 歳 永	ひたちなか市ネットワーカー連絡協議会	3 期	
3	井 川 健 一	CoderDojo Mito	2 期	
4	池 田 智 子	大子町ネットワーカー協議会	4 期	
5	井 坂 英 二	小美玉ネット	3 期	
6	井 坂 寛	茨城県生活協同組合連合会	1 期	
7	大久保 昌 義	常陸大宮市ネットワーカー協議会	3 期	
8	大 貫 重 信	水戸黄門漫遊一座	4 期	
9	加 藤 欣 一	茨城県 PTA 連絡協議会	2 期	
10	川 上 正 廣	那珂市ネットワーカー連絡協議会	4 期	
11	川 野 和 彦	いばらきマリッジサポーター県北地域活動協議会	2 期	
12	河 野 公 房	いばらきマリッジサポーター県央地域活動協議会	4 期	
13	菊 地 寿 代	大好きかさまネットワーカー連絡協議会	3 期	
14	小 坏 明 美	水戸市地域女性団体連絡会	1 期	
15	後 藤 京 子	那珂市消防団女性消防部	4 期	
16	島 田 百 子	美野里生活学校	3 期	
17	菅 谷 京 子	なめがたネットワーカー連絡協議会	2 期	
18	高 野 サタコ	下妻生活学校	1 期	
19	高 野 茂	特定非営利活動法人ひと・まちねっとわーく	1 期	
20	高 橋 正 道	水戸市環境保全会議	3 期	
21	竹 内 由比子	日本ボーイスカウト茨城県連盟	4 期	
22	寺 内 義 興	日本ボーイスカウト茨城県連盟	3 期	
23	中 村 久 子	取手生活学校	1 期	
24	西 村 重 之	利根町ネットワーカー協議会	4 期	ゼネラルマネージャー
25	福 原 千穂子	茨城町ネットワーカー等連絡協議会	4 期	
26	福 間 智 子	メサフレンドシップ	2 期	
27	堀 込 安 子	守谷市ネットワーカー連絡協議会	4 期	
28	松 山 美 子	一般社団法人ガールスカウト茨城県連盟	2 期	

チャレンジいばらき県民運動 組織体系図



チャレンジいばらき県民運動

事務局：〒310-0011

水戸市三の丸1-5-38 茨城県三の丸庁舎 2階

TEL：029-224-8120

FAX：029-233-0030

ホームページURL：<https://challenge-ibaraki.jp>

Eメールアドレス：info@challenge-ibaraki.jp